

高島市環境マネジメントシステム書面監査（結果）

市内18施設に照会させていただきました。照会結果は下記のとおりであります。

1. 冷暖房の温度管理は適正ですか。



★ほぼ全ての施設が適正に管理しているという結果でした。

その他の意見としては、冬の間はストーブのみを使用しており、冷暖房は使用していないというものでした。

2. トイレの電気など使用しないときは電気を消していますか。



★すべての施設で節電しているという結果でした。

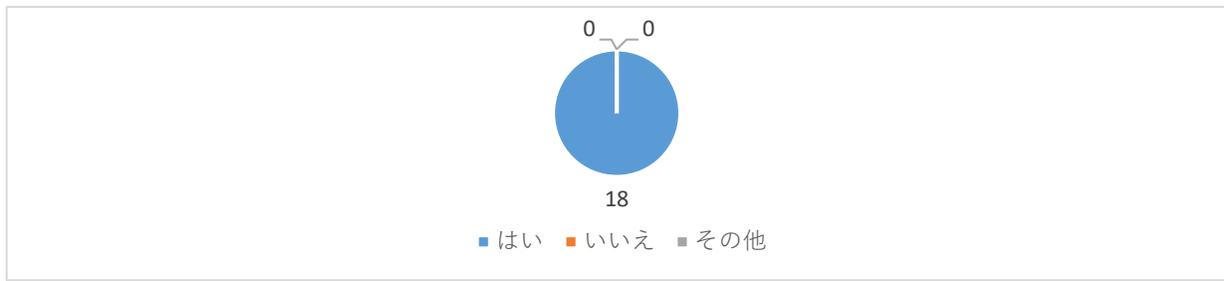
3. 施設から排出される廃棄物の量を把握していますか。



★大半の施設は把握されているという結果でした。

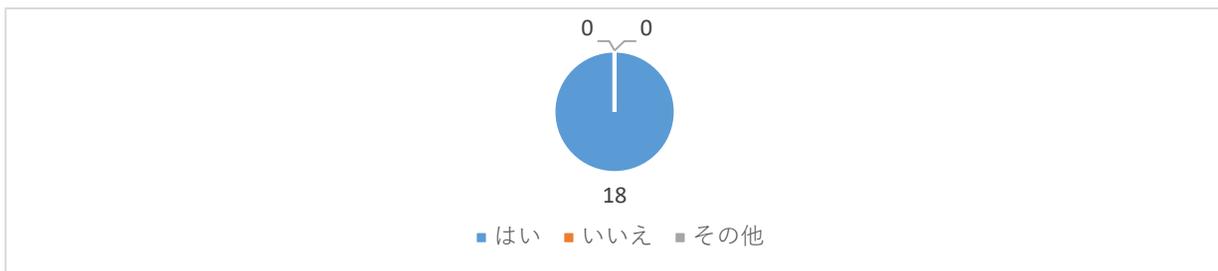
いいえと回答した施設も把握はしているものの、すべては把握ができていないようでした。その他の意見も、概ね把握というものでした。

4. ごみの排出の際は、市の分別方法に則っていますか。



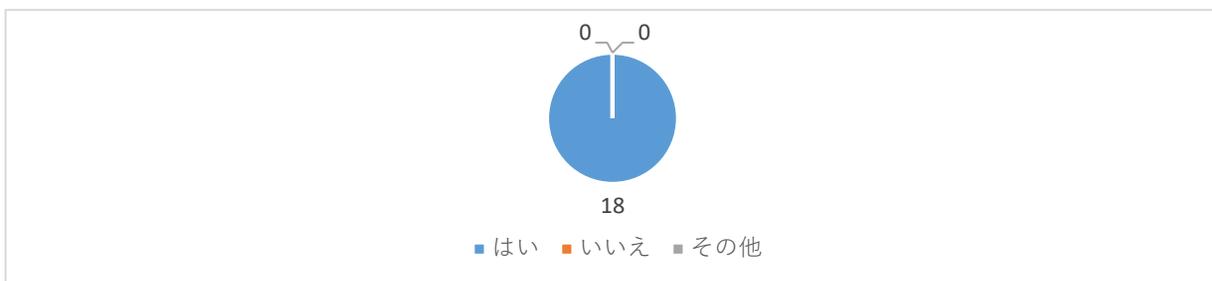
★すべての施設でしっかりごみを分別しているという結果でした。

5. 使用済みの古封筒は再利用されていますか。



★すべての施設で再利用し、資源の有効活用をしているという結果でした。

6. 印刷の際、紙の使用量削減のため、両面印刷等を積極的に行っていますか。



★すべての施設で、紙の使用量削減に努めているという結果でした。

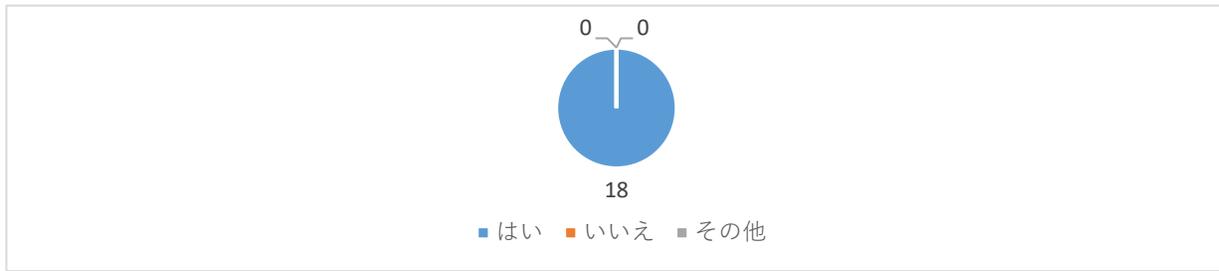
7. 会議資料は紙で作成していますか。



★大半の施設で、紙媒体での会議が行われていることがわかりました。

その他の意見としては、そもそも会議がない、PCのメール等で伝達をしているというものでした。今後は、PC等での会議を普及し、ペーパーレス化を推進していかなければなりません。

8. 備品類は丁寧に扱い、できるだけ長期間使用するように心がけていますか。



★すべての施設で、丁寧な扱いを心がけ、環境に負荷をかけないようにしているという結果でした。

9. その他、環境に配慮した取り組みをされていたら、具体的に教えてください。

- ・ 昼休憩時には、事務所内の電気を消灯。
- ・ トイレに芯無ペーパーを使用しているため、最後まで使ってもらえないことが多々あるが、そういったものは職員で最後まで使用している。
- ・ 利用者のいないときは、こまめにストーブの主電源を切り、灯油の節約に努めている。
- ・ 省エネルギー、省資源対策。
(昼休み、始業前の消灯。週に1回のノー残業デーの実施。)
- ・ 事業所内のごみは週に1度だけ出す。その他の各自で出したごみは持ち帰る。
- ・ 事業所内に温度計を設置し、時間を決めて測定している。
- ・ ガスを使用せず、薪を燃やすこともある。
- ・ 公用車のアイドリングストップ。
- ・ 生ごみは生ごみ処理機を使って減量している。
- ・ 片面印刷の不要紙は再利用するよう箱を設置。
- ・ 施設内の換気の徹底。(夏場等は外気、風の入れ替えで冷房の調整。)
- ・ 生ごみ処理機で排出した堆肥等は農家さんへ資源として再利用してもらっている。
- ・ 施設にごみ箱を設置せず、来場者にごみの持ち帰りを推進。
- ・ 樹木の剪定枝は粉碎チップを行い、堆肥化。
- ・ 古紙として回収可能なもので、個人情報等が記載されているものは、可能な限りシュレッダーにかけて古紙として排出。
- ・ 台風で倒れた樹木を薪として再利用。

10. 貴施設独自の環境に関する数値目標等がありましたら教えてください。

- ・ 灯油使用量を年間6kg未満にする。
- ・ ごみをできるだけ少なくするよう努める。
- ・ 冷房の設定温度28℃以上。暖房の設定温度20℃以下。

1 1. ごみの排出量等において、新型コロナウイルス感染症が影響して昨年度と変わったことはありますか。

- ・館内消毒にかかる物品についてのごみが増えた。
- ・団体利用が減少したことで、ペットボトルごみの量が減った。
- ・新型コロナウイルス感染症が影響して、従業員のマスク、手袋、ペーパータオル等今まで出たことがない量のごみとして出ている。しかし、感染防止対策であるのでやむを得ない。
- ・休業要請や時短営業により、全体的にごみの排出量は減少した。特に、生ごみ排出量は前年比（4月～12月）で約16%減少した。
- ・今年度の可燃ごみ排出量は4月～6月の3か月間、昨年度の同月分に比べて、大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止策で臨時休館したので、施設利用者が大幅に減少したためと思われる。